

## 積算システムにおける 護岸詳細設計の端数処理について

護岸詳細設計の端数処理は、積算システムでは以下のとおりの考え方で積算されています。

### 護岸詳細設計

$$S = A \times (K_1 \times K_2 \times K_3 \times K_4)$$

$S$ ：補正後の歩掛

《少数第3位（少数第4位四捨五入）まで算出》

$A$ ：標準歩掛

$K_1$ ：設計延長に対する補正係数

《少数第2位（少数第3位四捨五入）まで算出》

$$K_1 = 0.0025x + 0.5 \quad x: \text{設計延長 (m)}$$

$K_2$ ：基礎地盤条件による補正係数

$K_3$ ：測点間隔による補正係数

$K_4$ ：市街地における補正係数

※  $(K_1 \times K_2 \times K_3 \times K_4)$  は、端数処理をしていません。

## 該当コード

### 護岸詳細設計（片岸）

コード	名称	単位
D11DI360340	護岸詳細設計(片岸)(一般地区)	式
D12DI360340	護岸詳細設計(片岸)(市街化地区)	式
WI360340	設計計画[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360345	現地踏査[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360350	基本事項決定(法線等見直し検討)[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360355	基本事項決定(護岸の配置計画)[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360360	基本事項決定(構造物取付検討)[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360365	景観検討[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360370	本体設計(基礎工検討諸元設定)[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360375	本体設計(安定計算)[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360380	付帯施設設計(階段工等)[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360385	付帯施設設計(排水管渠)[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360390	付帯施設設計(その他施設)[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360395	施工計画[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360400	仮設計画[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360405	図面作成[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360410	パース作成[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360415	数量計算[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360420	照査[護岸詳細設計(片岸)]	式
WI360425	報告書作成[護岸詳細設計(片岸)]	式

護岸詳細設計（両岸）

コード	名称	単位
D11DI360430	護岸詳細設計(両岸)(一般地区)	式
D12DI360430	護岸詳細設計(両岸)(市街化地区)	式
WI360430	設計計画[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360435	現地踏査[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360440	基本事項決定(法線等見直し検討)[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360445	基本事項決定(護岸の配置計画)[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360450	基本事項決定(構造物取付検討)[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360455	景観検討[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360460	本体設計(基礎工検討諸元設定)[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360465	本体設計(安定計算)[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360470	付帯施設設計(階段工等)[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360475	付帯施設設計(排水管渠)[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360480	付帯施設設計(その他施設)[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360485	施工計画[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360490	仮設計画[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360495	図面作成[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360500	ハ-入作成[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360505	数量計算[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360510	照査[護岸詳細設計(両岸)]	式
WI360515	報告書作成[護岸詳細設計(両岸)]	式